

## ●春日部市民文化講座（第29回）

◆日時：2019年2月6日(水) 10時（ぼぼら春日部4階会議室）～11時

◆テーマ：講演「22回目のチャリティ茶会に向けて」

講師：香田 寛美（江戸千家涪白流茶道教授）

◆ゲスト紹介：《前掲と同じ》江戸千家涪白流(いはくりゅう)茶道教授。

## ■22回目のチャリティ茶会に向けて

今年、2019年は11月に「チャリティ茶会」を予定しておりますので、昨年2018年5月26日の「第21回 丘の上チャリティ茶会」が平成最後のチャリティ茶会となりました。昨年のチャリティ茶会は、

◇広間（濃茶）裏千家 藤井宗輪先生

◇立礼（薄茶）大日本茶道学会 木下仙初先生

◇野点（薄茶）表千家 高橋敏夫先生

◇小間（濃茶）江戸千家涪白流 香田 静寛

◇礼拝堂（講演）「こんなにもある、お茶の健康パワー」

おづつみ園社長 尾堤 宏氏

◇礼拝堂（音楽）コーラス フェリス・フラウエンコーア

◇お客様 256名 という状況でした。

## ■チャリティ茶会のはじまり

チャリティ茶会のはじまりは、1998年1月の丘の上記念会堂「正月茶会」での高橋先生のひと言でした。「毎日の暮らしの中では暗いニュースが多いですね。21世紀を前にしてこんなうつむき加減の時代だからこそ、多くの人たちの心を豊かにする文化や人との出会いが必要だと思います。ぼく達には一碗のお茶を点てて

差し上げることしかできないけれども、その一碗でお越しいただいた方々に慌ただしく過ごす日々のことを忘れていただけるようなお茶会が開くことができたらいいですね」というものでした。そして、8月には4席を持っていただく先生方が決まり、1998年11月13日(金)・14日(土)の茶会開催がまとまりました。第1回茶会は、大日本茶道学会・関根富仙先生、裏千家・けやき会(小澤宗静先生)、表千家・高橋敏夫先生、そして1日だけ私・江戸千家涪白流・香田の4流派、2日間で600名のお客様に楽しんでいただくことができました。

## ■四つの流派が集まって【丘の上チャリティ茶会21年史】

「丘の上チャリティ茶会」の21年を振り返ってみますと、第1回が2日間の開催でした。4流派の茶席と菊花展、礼拝堂での音楽が提供され、第4回までは「茶と音楽の楽しみ」となっていました。そして第5回から講演が加わり「茶と音楽と講演の楽しみ」にタイトルが変わりました。このように素晴らしい方々に講演をいただき、素晴らしい音楽を楽しんでいただきながら21年にわたる茶会が続いています。その中で私が19年連続で続けて来られた理由は・・・

- ① 毎回、お客様からいただく「お茶とお菓子が美味しかった」「とても楽しかった」という嬉しい言葉と笑顔：これが一番ですね。どんなに疲れても、こうした言葉をいただくと疲れが吹き飛びますね。
- ② 高橋先生をはじめ各先生方からの励まし：300名近くのお客様を迎えるために教会の隅々までを掃除され設えてくださる山田先生や教会の皆様、そして毎回さまざまな面で励ましてくださる高橋先生をはじめ先生方のお陰です。
- ③ 先代、更に当代のお家元の最大級のバックアップと水屋を任せられる社中の協力：以前は「継続は力なり」と一生懸命にやってきましたが、最近では「継続は宝なり」という胸中になっています。

## ■茶の湯の楽しさを伝道して、私にとっての茶の湯とは・・・

私は茶会だけでなく、さまざまな機会を通じて「お茶の美味しさ、楽しさ」を伝えたいと思っています。13年前から看護専門学校での茶道講座を持たせていただき、昨年からは保育所での茶道教室も始まりました。お茶の美味しさ、お茶を介した人との出会い、お茶を介したひと時を楽しく過ごしたいという願望で一碗を差し上げているのだと思います。私は、これからも多くの人たちにお茶の美味しさ、楽しさを伝えていきたいと考えています。



広間・思静荘（濃茶）、裏千家：藤井宗輪先生



立礼・友愛ホール（薄茶）、大日本茶道学会：木下仙初先生



野点・復活の庭（薄茶）、表千家：高橋敏夫先生



小間・在主庵（濃茶）、江戸千家涪白流：香田



講演・礼拝堂、おづつみ園社長：尾堤宏氏



コーラス・礼拝堂、フェリス・フラウエンコーア

2020年度は新型コロナ禍という厳しい状況でしたが、23回目を無事に行うことができました。